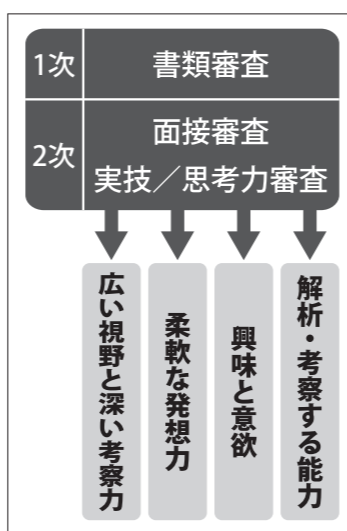


理工学部が求める学生像

理工学部では自ら問題を発掘して解決できる能力をそなえた人材の育成を目指しています。AOマルデス入試では、この理想を追求するためにさまざまな試験方法を用意して、学力のみを問うペーパー試験でははかりきれない下記のような資質をそなえた学生を求めています。学校推薦よりも自由に、一般入試より個性的に、自分の才能を発揮できるAOマルデス入試にチャレンジしてみませんか。

理工学部では
次の資質を
そなえた学生を
求めています。

- 1 自然現象や普段の生活で使われている技術に対する**広い視野**と**深い考察力**があること。
- 2 その視野と考察力を基礎とした**柔軟な発想**をもつこと。
- 3 数学や理科あるいは科学技術に対する**興味**と、その修得に対する強い**意欲**をもつこと。
- 4 実験結果を論理的に**解析・考察する能力**があること。



出願資格

普通科では数学、理科で一定数以上の単位の修得が必要です。普通科以外に必要な単位数を満たせない場合、または「高等学校卒業程度認定試験」・「大学入学資格検定」合格者、帰国生・外国人特別受験生は、科目の読み替えによる資格判定をしますので、出願締切日の前日までに本学入試センターまでお問い合わせの上、必要書類を提出してください。(詳しくは、5ページ下部参照)

審査

[理工学部] 一次審査 全員共通

審査	学科	内容
書類審査	全学科	志望理由書、調査書、活動報告書、英語検定試験等の証明書、科学に関係するコンクール等への参加・入賞を示す資料、その他すべての提出書類に基づいて、総合的に審査します。

志望理由書では、志望理由の妥当性や意欲、理工学への関心の明確性、文章表現を審査します。その他の書類では、理数系科目の履修状況や、勉学および各活動の達成度を評価し、本学部での学びに対する準備状況ならびに資質について審査します。

[理工学部] 二次審査……11月16日(土) 一般受験

※集合時間・場所等は、一次審査合格発表時に郵送でお知らせします。

学科	審査	配点	内容
物質生命理工学科	実技 / 思考力審査	50	<p><午前> 10:00~12:00 [120分]</p> <p>①実技審査の内容について担当審査員が解説します。 ②実際に実験を行います。結果だけでなくすべての観察事項を記録しておいてください。 ③実験中は複数の審査員が実験台を回ります。実験に関して不明な点は自由に質問してください。審査員からも質問があるかもしれません。 ④実験の結果をレポートにまとめます。</p>
	面接審査	50	<p><午後> 13:00~ [一人15分程度]</p> <p>一次審査に提出された志望理由書、活動報告書、および実技審査で作成したレポートの内容などについて口頭試問します。</p>
情報科学科	思考力審査	50	<p><午前> 10:00~11:50 [110分]</p> <p>順序立てて物事を考える力を見るために演習に取り組みます。通常のペーパーテストとは違って、審査員に質問することができます。 ①数学的思考力・論理的思考力・アルゴリズム(解法)作成力を問う問題が出題されます。 ②内容は基本的なものです。途中経過を丹念に詰めていく必要があります。鉛筆と紙を使って問題に取り組みます。 ③途中経過も採点対象ですので、解答用紙には答を導くまでに試行錯誤した内容も含めてすべて書き込んでください。</p>
	面接審査	50	<p><午後> 13:30~ [一人20分程度]</p> <p>一次審査に提出された志望理由書、活動報告書、および思考力審査の内容を中心に、情報科学を学ぶ意欲と数学・理科の基本事項について口頭試問します。</p>
システムデザイン学科	思考力審査	30	<p><午前> 10:00~11:30 [90分]</p> <p>身の回りの道具や機器(実物を配付することもある)、あるいは事象などについて、おもに文章(補助的に図やイラストを用いても良い)による説明を求めます。普段何気なく利用しているモノの使い方や原理、話題となっている事象も、それを他の人にもわかるように説明することは結構難しいものです。これに挑戦してもらいます。まわりのことにとどのくらい興味をもち、考えて生活をしているかが問われます。疑問点・不明な点が生じた場合は審査員に対して質問することができます。</p>
	面接審査	70	<p><午後> 12:30~ [一人30分程度]</p> <p>一次審査に提出された志望理由書、活動報告書に書かれたことを中心に面接を行います。口頭試問では高校までの数学や理科(特に物理)において基礎的な事項を理解しているかどうかを確認します。場合によっては黒板を使って説明することも可能です。</p>

実技/思考力審査

数学的および科学的知識に基づく実験・演習の巧拙だけを審査するわけではありません。実技を通じて物事に対する取り組みの姿勢を示してください。

面接審査

興味と意欲、基礎的知識、論理的思考力、説明能力を審査します。広い視野と発想力、活動実績も評価します。減点評価はせず、特長ある内容について加点方式で高く評価します。

帰国生・外国人特別受験

審査	学科	内容
質疑応答審査	全学科	30~60分程度の個人面接です。提出された志望理由書に関する質問や口頭試問を中心に質疑応答をします。口頭試問では高校までの数学や理科において基礎的な事柄を理解しているかどうかを確認します。

志望理由書、活動報告書等は、面接時の参考資料として利用します。

社会人特別受験

審査	学科	内容
発表・質疑応答審査	全学科	10分程度の口頭発表と、その内容や提出された書類についての質疑応答を行い、合計60分以内の審査をします。口頭試問では高校までの数学や理科において基礎的な事柄を理解しているかどうかを確認します。

発表と質疑応答で審査します。発表の課題は「実社会における経験と大学で学びたいこと」。社会人としての経験から得たこと、そして本学でどのようなことを学びたいかについて、口頭で約10分間の発表をしてもらいます。そのあと、発表の内容および志望理由等についての質疑応答を行います。発表にあたっては、レジュメ(発表内容をまとめたものでA4判用紙1枚)を提出していただきます。レジュメは手書きでもPC出力でも結構です。書式は自由とします。発表時にコピー3部を持参し、審査員に提出してください。また、PC(およびプロジェクター)やOHP等の発表機器が使用できます。発表機器を使用される場合は、利用可能な機器とメディアについて審査日の1週間前までに本学入試センター(0422-37-3533)までお問い合わせください。